

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は羊蹄山の麓に位置する倶知安町に生まれ、幼少期は父の仕事の関係で真狩村をはじめ、網走市、留萌市と転勤を繰り返していました。姉の中学校入学を契機に現在の石狩市に移りましたが、「もう引っ越しは勘弁して欲しい」という願いが通じ、これ以降は父が単身赴任することになりました。父が転勤ばかりしていたためか、就職先は転勤が無いところを探していたところ、当時大学の研究室の山口教授から現在の会社を紹介していただき、縁あってお世話になっています。

入社以来、河川・砂防に関わる設計業務に携わっているのですが、学生時代に勉強してこなかったことを今更ながら後悔しつつ、毎日悪戦苦闘しています。そんな私が「技術士」を知ったのは、入社して3年ほど経った頃でしょうか。当時の上司や先輩が技術士試験を受験すると聞き、この資格はいったいどういふものかと調べ、レベルの高さに「自分には一生縁のない資格だな」という印象が強く心に残りました。

それから十余年の月日が流れ30代も半ばにさしかかった頃、周囲の見えない圧力とこのままではいけないとの思いから、技術士試験の受験を決意しました。実際に受験するまで2年ほどかかりましたが、周りの皆さんの手助けと悪運の強さから、初受験で無事合格することができました。しかしながら、技術士を名乗るだけの実力が伴っているかというところ、まだまだのところがあります。北海道においても災害ポテンシャルの増大が予想されており、ますます社会資本整備が重要となります。そのため、これからも沢山経験を積み自己の資質向上に努め、河川・砂防の技術者として地域社会の発展に貢献していきたいと思っております。

佐野 敏博 (さの としひろ)

●建設部門
(河川、砂防及び海岸・海洋)

勤務先

株式会社 ケイジー技研
設計部 設計二課



→ 次号は、秋田大輔さん(建設部門)

私は、札幌市に生まれ、小学と大学時代は技術士の口頭試験が行なわれた渋谷区や神奈川県での道外生活を数年間ずつ経験し、現在は株式会社ルーラルエンジニア本店がある深川市に住んでいます。ここは、道内有数の稲作地帯であり毎年、良質米が生産されています。近年は「ふっくりんこ」という品種の人気が高まっており、作付面積が増加しているようです。ほぼ毎日、地元農家さんが作った深川産米を食していますが、とても美味しいです。

弊社は、主に農業土木に関わる事業の調査、研究、計画、設計、施工管理等の業務を行う建設コンサルタントです。現在、私は経営体育成基盤整備事業において、水田地帯における圃場整備の実設計業務に携わっています。業務の内容は、開水路である既設用水路のパイプライン化や圃場の大区画化、排水不良の改善などであり、受益地における維持管理作業の効率化や生産性の向上などを目指しています。

農業土木施設の多くが耐用年数を迎えているなか、土地改良事業は新規構築から既存施設の更新事業にシフトしています。私は、この変化に対応すべく日々の技術研鑽に努めているところです。また、近年は受益者説明会の開催など、地域住民との関係が特に重要になっているため、技術提案などでの技術力は当然、関係者に対して解りやすく説明できるコミュニケーション力を持ち、さらに、地域ニーズや経済性・効率性だけでは量れない部分に対しても柔軟に対応できる技術者になりたいと考えています。

玉山 政宏 (たまやま まさひろ)

●農業部門(農業土木)

勤務先

株式会社 ルーラルエンジニア
本店 技術部門



→ 次号は、渡辺久信さん(農業部門)